

外的要因に悩む伯国

亞国では通貨危機再燃?

自動車業界などへ影響大

米国連邦準備制度理事会(FRB)のジャネット・イエレン議長が11日、「伯国は新興国15カ国中、国外からの衝撃に2番目に脆弱」と発言した余波が続く中、18日付エクスプレス紙が、アルゼンチンの通貨危機の影響で、伯国の大統領選は20億ドル規模の損失を見る見込みと報じた。



伯国産業界を圧迫する政策を継続するクリスチーナ・ダラーラ

外貨準備高、公的債務、民間金融機関のそれぞれが民間金融機関の過去5年間に融資額のそれぞれが内総生産(GDP)に占める割合などを鑑みてこのリストを作成。新興国が国外からの衝撃や圧力に耐えるためには、この脆弱性を克服する必要があるという。

13日付オーリヤ紙によると、イエレン議長の発言の翌日、米国で開かれた講演会に招かれていたルーラ前大統領は、「伯國の経済は安泰だから恐れずに投資を」と呼びかけている。

講演会に出席した外国

聖市で薬物の「フエイラ」

警察の課報部局が取締りへ

聖市メトロのコンソラ・サン駅からアーグスタン通りをセントロ方面に下つたペイショット・コミデー

通りの1区画で、8、9

日夜、マリファナ、コカイン、 LSDなど各種ド

ラックの「フエイラ」が

売却して買い支えを図つたが、インフレ高進に伴

ソジ急落で通貨危機への恐

れども、マリファナやコカインを吸うのは普通のベソだ。

同国中銀はドル準備を

修正とした。

5大脆弱国はFRBが

0%から2・3%に下方

成長率を前回予想の2・

5%から2・3%に下方

